

「ちくほう式『一日一読』のすすめ！！研修会」事業報告

1 事業名 令和3年度「ちくほう式『一日一読』のすすめ！！研修会」

2 研修内容

研修1〈説明〉 「ちくほう式『一日一読』のすすめ！！」
筑豊教育事務所 社会教育室 社会教育主事 岸野 和徳

研修2〈実践発表〉「自分たちでまちの未来をつくる」
福智町図書館・歴史資料館 館長 井上 憲治 氏
福智町図書館・歴史資料館 係長 藤村 成美 氏

研修3〈講話〉 「やってみようブックトーク～子どもたちに本を手渡したい！～」
児童書専門店「こどもの広場」 主宰 横山 眞佐子 氏

3 日 時 令和3年11月16日（火） 13：30～16：00

4 会 場 福岡県教育庁筑豊教育事務所 （飯塚市立岩 1401-2）

5 対 象 市町村教育委員会社会教育・生涯学習関係課職員
市町村公立図書館職員、市町村で活動している読書ボランティア
小・中学校及び義務教育学校教職員、その他希望する者

6 当日の様子



【不読率の現状の説明】



【福智町図書館の実践発表】



【ブックトークをする横山氏】



【横山氏が紹介された本】

本研修会は、「小・中学生の不読率改善につながる公共図書館の取組」「ブックトークの実践事例」「本を子どもたちが選ぶ選書会の取組」について学び、読書を支援する方々の意欲向上につながる機会とすることを目的として実施しました。

説明の中で子どもたちの不読率が課題となっていることを理解し、実践発表や講話をとおして、「学校と連携しブックトークやビブリオバトルを実施していきたい。」「中学生と小学生に図書室の本の選定をしてもらう月を設けてみたい。」「私たちが子どもたちに本の魅力を伝える橋渡しをする役割を担っていかねばいけない。」等の声を聞くことができ、それぞれの立場で新たな不読率改善に向けた取組を考える機会にすることができました。

今回の研修会をとおして、読書を支援する方々が、子どもたちの不読率改善に向けた様々な取組の必要性や子どもたちに本を手渡す役割の重要性についての理解を深め、今後の読書活動推進への意欲を高めることができました。